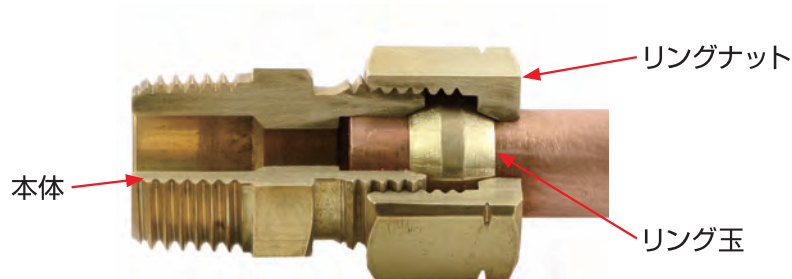


弊社では、銅管継手として、リング式継手とフレアー式継手の二種類をご用意しております。

## リング式継手

- 本体、リング玉、リングナットの三部品で構成されています。
- 銅管をパイプカッターで切断し、施工できるので非常に能率よく配管作業を行えます。

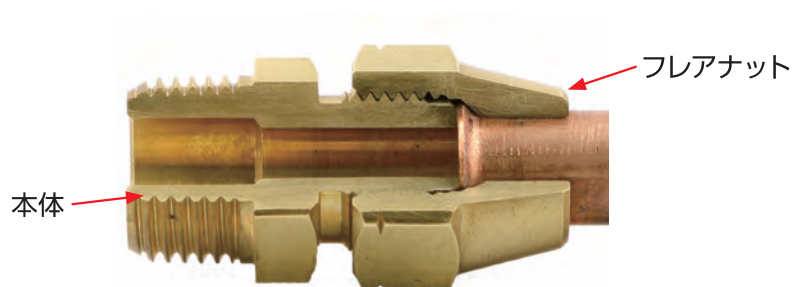


### 組付作業要領

1. 管をリングナットの穴へ止まる位置まで差込む。
2. ナットを手で締め付けた後、スパナで1/2～1回転するまで徐々に締めつける。  
※回転数については、ロット差があるため、目安のため保障するものではありません。

## フレアー式継手

- 本体、フレアナットの二部品で構成されています。
- リング式継手より気密性が優れています。
- 弊社品は、新冷媒用で使用することはできません。



### 組付作業要領

1. ナットを管に差込み、管端を45度用フレアツールで拡管する。
2. 本体側へ手で締め付けた後、スパナで1/2～1回転するまで徐々に締めつける。  
※回転数については、ロット差があるため、目安のため保障するものではありません。

### 注意点

- 接続管は銅管（質別は、O、OL、1/2H）を使用してください。
- 管は真円に近いもので外表面は滑らかなもの。
- 切断後は、内外面のバリおよびカエリを取り除いてください。
- フレアジョイント用本体のシートにキズをつけると、漏れを生じるおそれがあります。